TOTO

サーモスタットシャワー金具

シャワーバー
TMC95型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

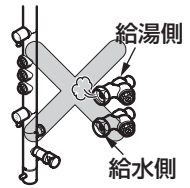
	⃠ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁　止

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



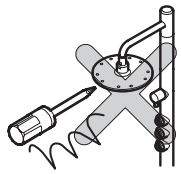
給湯温度は85℃より高温で使用しない

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

分解禁止

この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

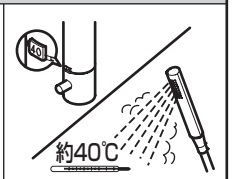


⚠ 警　告

必ず実行

目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う

使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。



フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う
また、本体下側および湯側取付脚が熱くないことを確認する

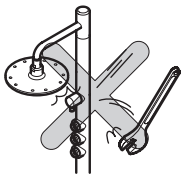
高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注　意

禁　止

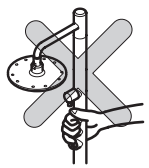
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーバーを手すりとして使用したり、ぶら下がったり、シャワーハンガーに登ったりしない

滑ったり、外れたりしてけがをするおそれがあります。
また、故障や水漏れの原因になります。



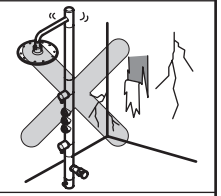
1-2

⚠ 注　意

必ず実行

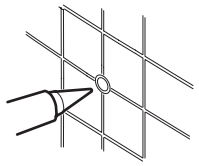
必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける

土壁・石膏ボード壁などの強度の無い壁に直接取り付けると、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。



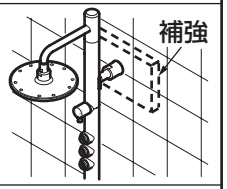
取り付ける穴の周囲に必ずシーリング剤を塗布する

シーリング剤を塗布しないと、壁裏へ水が侵入し、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。



各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強が有ることを確認する

下地に十分な厚み・補強がないと、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして、けがをするおそれがあります。



取り付け完了後、シャワーバーにガタツキがないことを確認する

シャワーバーにガタツキがあると、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして、けがをするおそれがあります。

2 仕様

製　品		エアインタイプ	スプレータイプ
給水・給湯圧力	最低必要水圧（流動時）	0.12MPa ※0.15MPa	0.1MPa
	最高水圧（静止時）	0.75MPa	
使用最高温度		85℃以下	
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度		1～40℃	
用　途		一般住宅浴室用	

※オーバーヘッドシャワーとボディシャワーの同時吐水の場合

3 取り付け前に

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。

●快適なシャワー流量・温度を得るためには、給湯機の給湯温度は60℃設定をおすすめします。
やけど防止のため、60℃を超えない設定をしてください。

●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

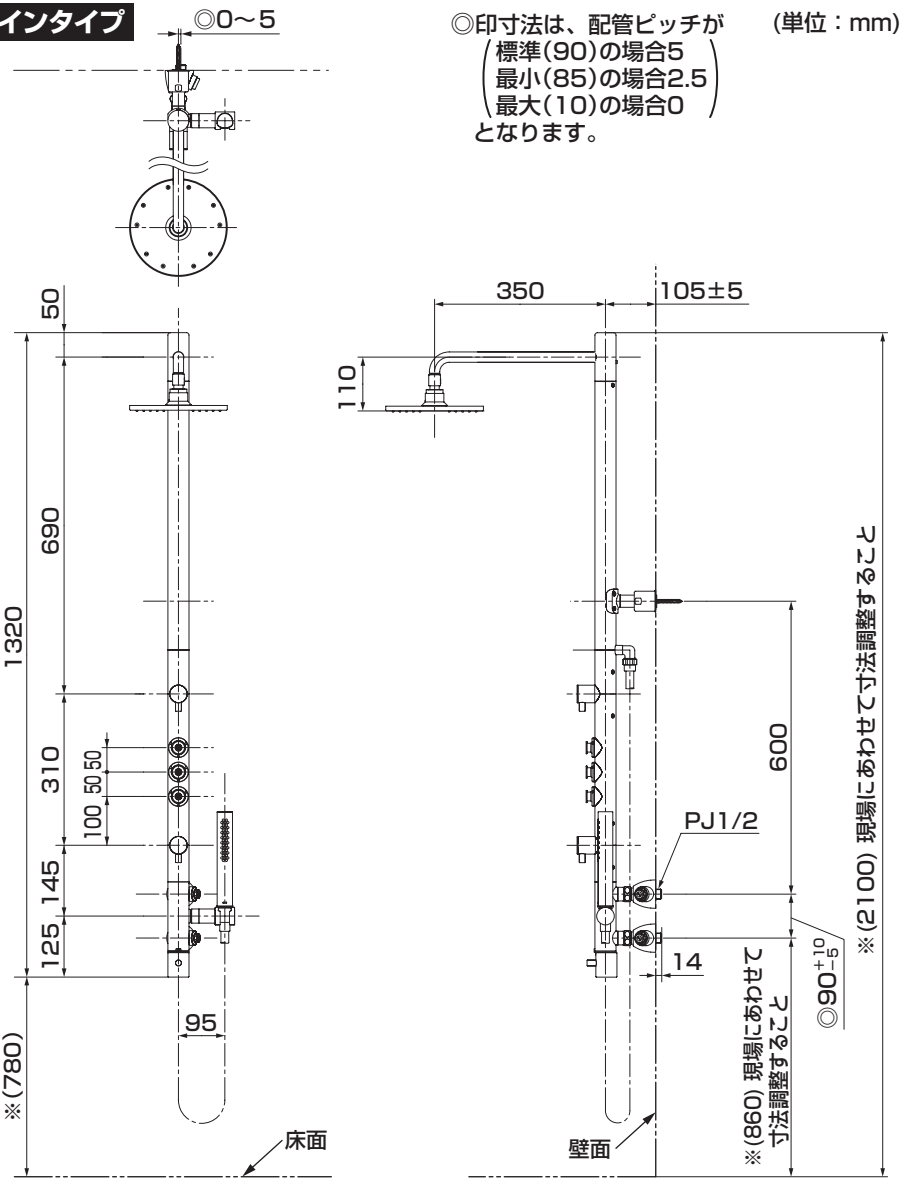
●シャワーバーを取り付ける壁に十分な強度があることを確認してください。
（施工手順 6-2 を参照してください）

●固定方法は建物の構造に応じて適切な方法を選んでください。
シャワーバーには木下地用・コンクリート下地用のコーチねじを同梱しています。また、コンクリート下地の場合には同梱の樹脂プラグを使用してください。

4 完成図

●品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

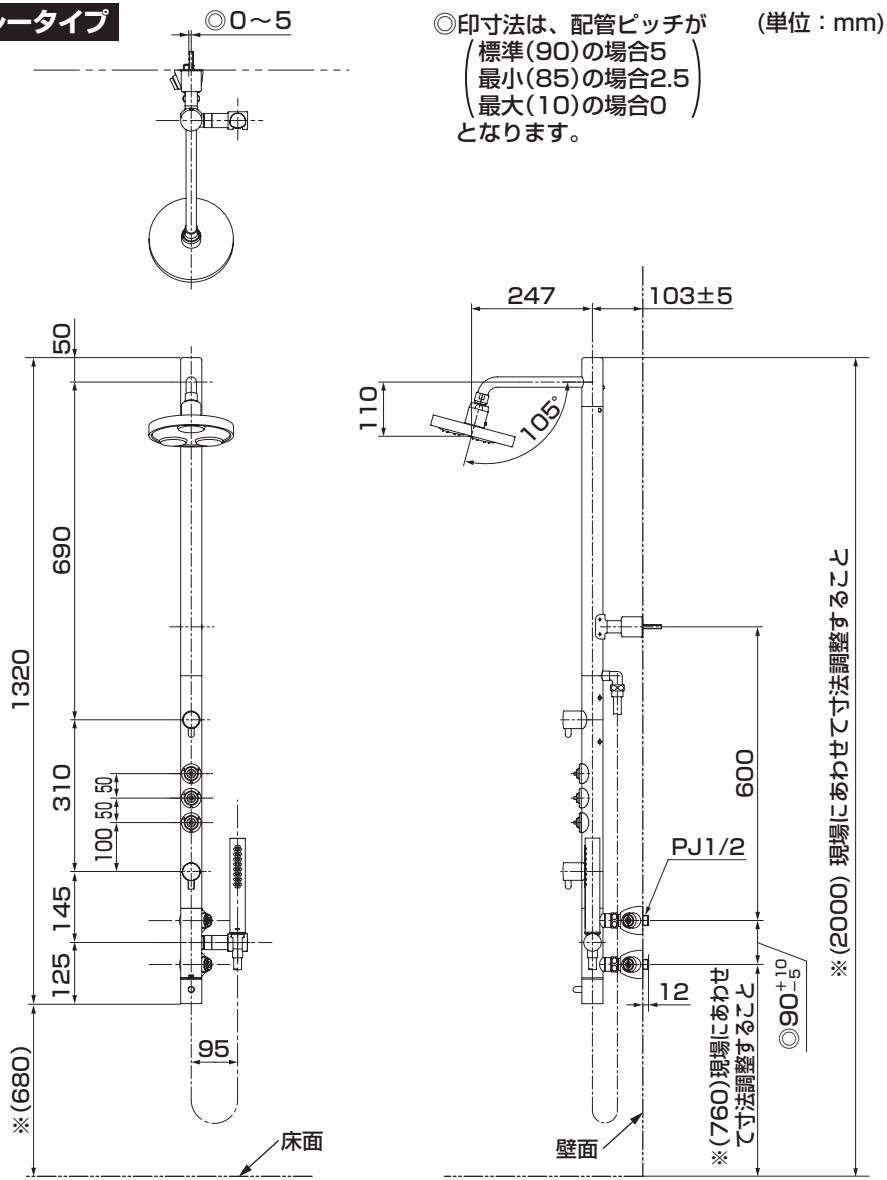
エアインタイプ



※( )寸法は参考寸法です。使用者の身長・天井の高さなどを考慮のうえ、取り付けてください。

●品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

スプレータイプ



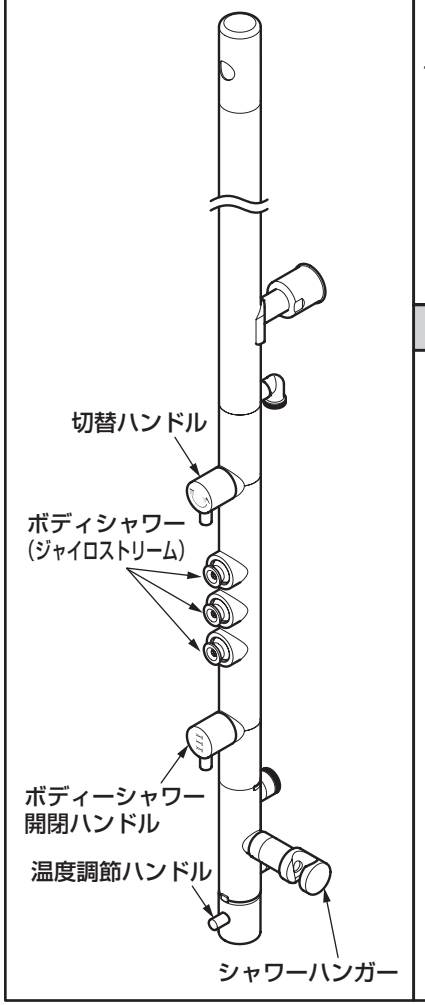
※( )寸法は参考寸法です。使用者の身長・天井の高さなどを考慮のうえ、取り付けてください。

5 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

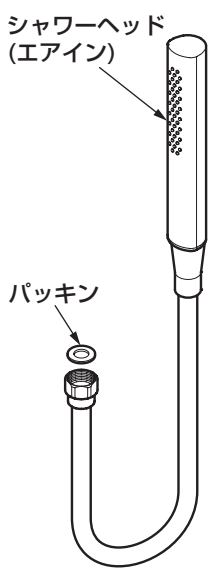
エアインタイプ

本体部



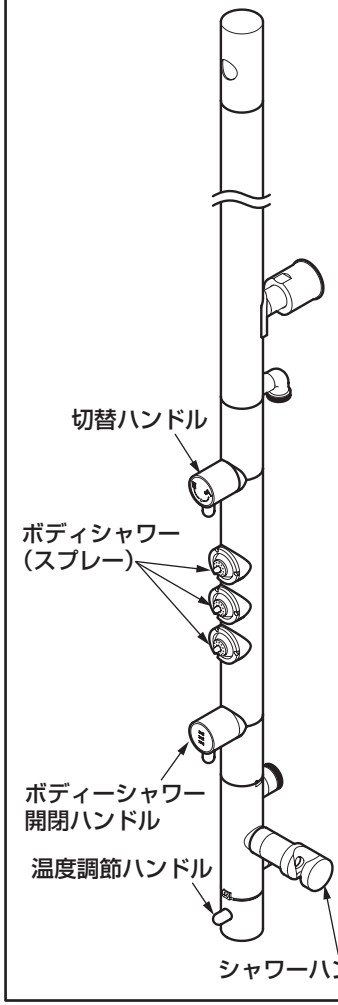
オーバーヘッドシャワー部

ハンドシャワー部



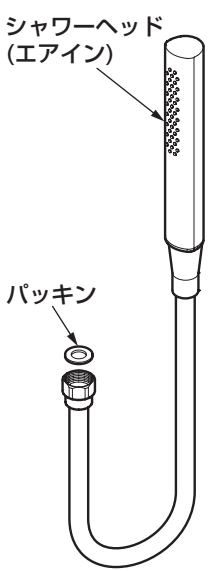
スプレータイプ

本体部



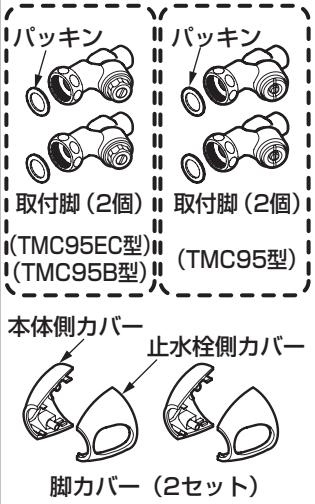
オーバーヘッドシャワー部

ハンドシャワー部



取付金具部

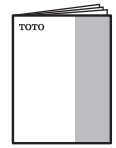
取付脚部



その他

施工説明書

必ずお客様にお渡しください



取扱説明書

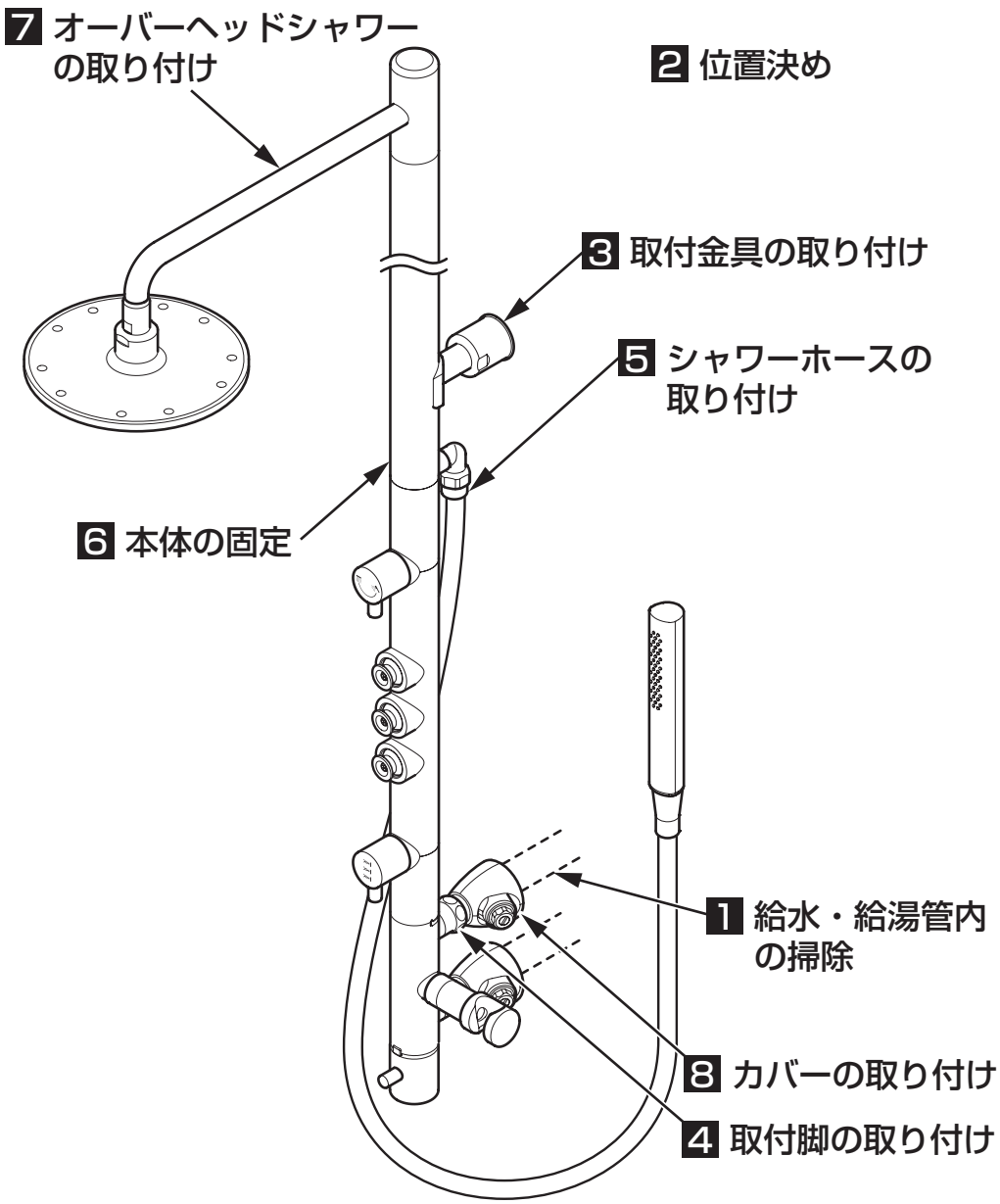
使いかたラベル

六角棒レンチ
(エアインタイプのみ)

開閉工具
(スプレータイプのみ)

※品番によっては図と現品の形状・仕様が一部異なります。

6-1 施工手順



1 給水・給湯管内の掃除

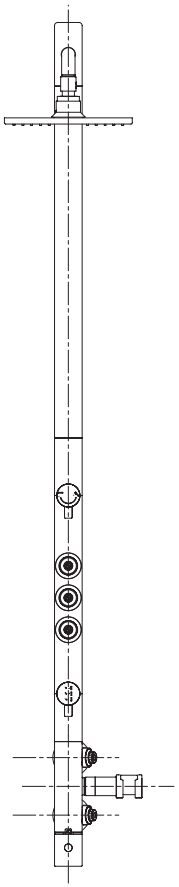
重要

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

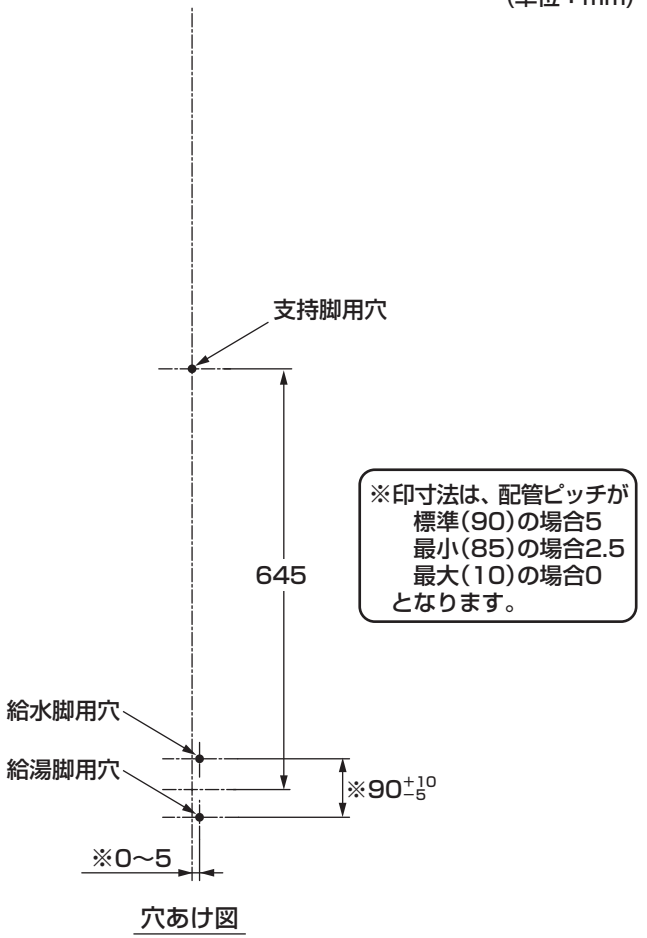
2 位置決め

シャワーバーの取付位置を決め、穴開け位置を決める。

(単位：mm)



取付図



穴あけ図

※印寸法は、配管ピッチが
標準(90)の場合5
最小(85)の場合2.5
最大(10)の場合0
となります。

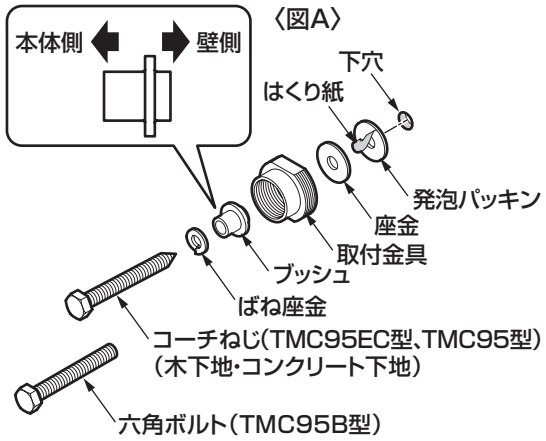
3 取付金具の取り付け

取付金具の取付方法は取り付ける壁によって異なります。取り付ける壁に応じた方法にしたがって、正しく取り付けてください。

注 意

- **発泡パッキンが必ず壁側になるように取り付けてください。**
- **ブッシュは必ず短い方が壁側になるように取り付けてください。**

〈図A〉

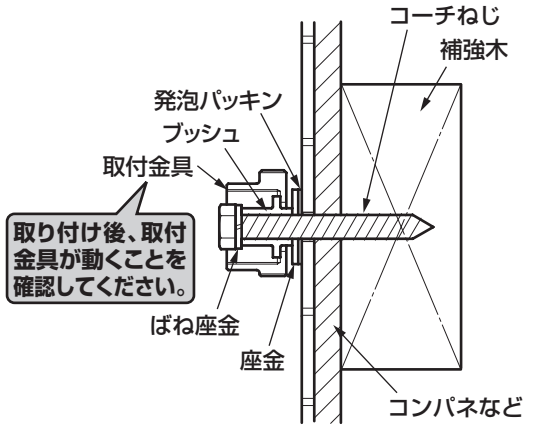


木下地：コーチねじ固定の場合

①下穴をφ6mmのドリルであける。
（タイル壁の場合は、タイル部のみ通し穴をφ9mmのドリルであけてください。）

②発泡パッキンのはくり紙をはがし、座金に貼り付ける。

③取付金具を図Aの順序にて取り付ける。



注 意

- **30mm以上のコンパネ＋補強木を必ず取り付けてください。**
  補強木を取り付けないと、シャワーバーがガタついたり、外れたりすることがあります。
- **φ6mmの下穴をあけることのできる適切なドリルを使用してください。**
  ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと取付金具の確実な固定ができないことがあります。
- **コーチねじをねじ込む前に、穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。**
- **コーチねじを強く締めすぎてタイルを割らないようにご注意ください。**

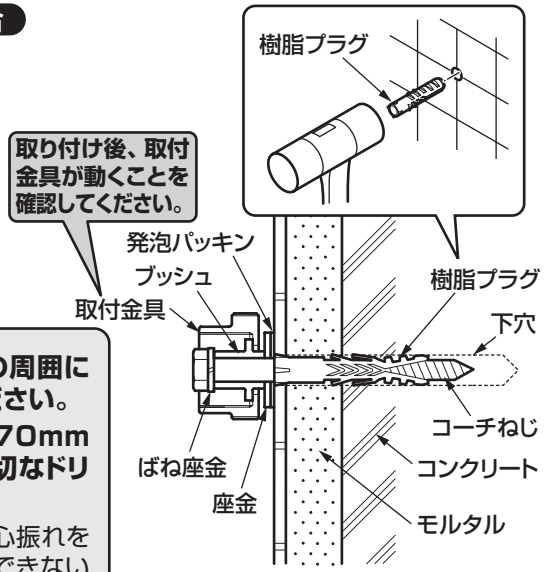
コンクリート下地：プラグ固定の場合

①φ10mmの樹脂プラグ用の下穴を約70mmの深さにあける。

②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。

③発泡パッキンのはくり紙をはがし、座金に貼り付ける。

④取付金具を図Aの順序にて取り付ける。



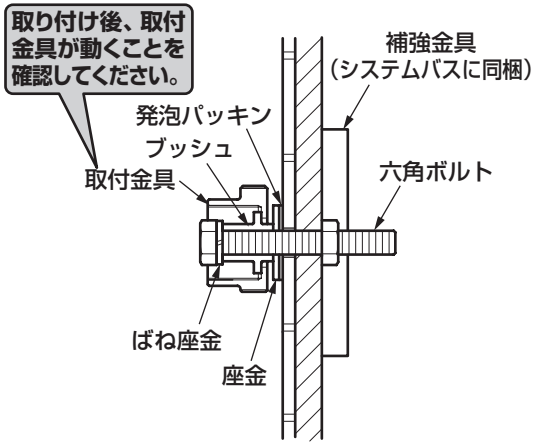
注 意

- **コーチねじをねじ込む前に、穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。**
- **コンクリートにφ10mm、深さ70mmの下穴をあけることのできる適切なドリルを使用してください。**
  ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと取付金具の確実な固定ができないことがあります。
- **コーチねじを強く締めすぎてタイルを割らないようにご注意ください。**

システムバス：六角ボルト固定の場合

①発泡パッキンのはくり紙をはがし、座金に貼り付ける。

②取付金具を図Aの順序にて取り付ける。



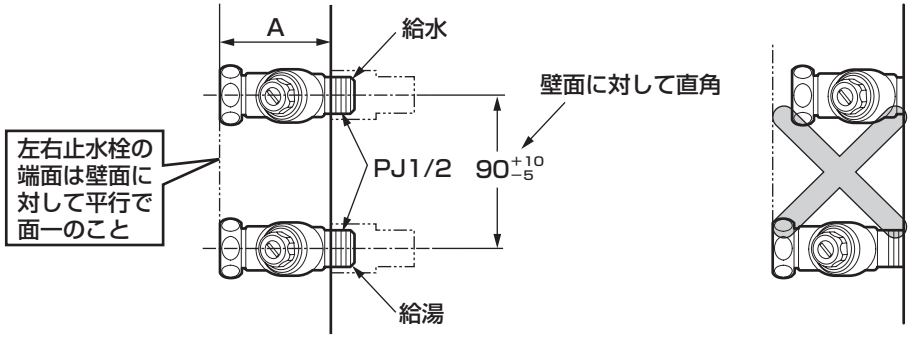
注 意

- **発泡パッキンが必ず壁側になるように取り付けてください。**
- **ブッシュは必ず短い方が壁側になるように取り付けてください。**

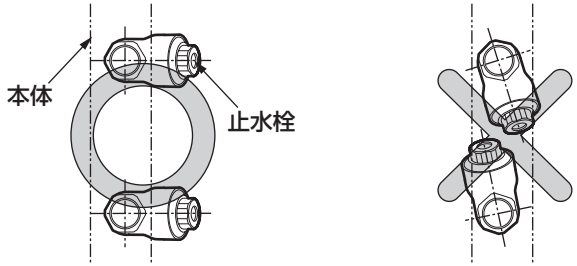
4 取付脚の取り付け

取付脚を取り付ける。（給水・給湯側）

	エアインタイプ	スプレータイプ
A寸法	66±5	64±5



※止水栓は必ず横向きになるように取り付けてください。また、止水栓を内側に施工した場合、流量調節やフィルターのメンテナンスが困難となります。

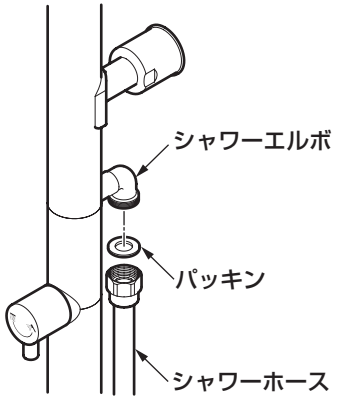


5 シャワーホースの取り付け

シャワーホースを図のように取り付ける。

注 意

パッキンが入っていることを確認してください。



裏面へつづく

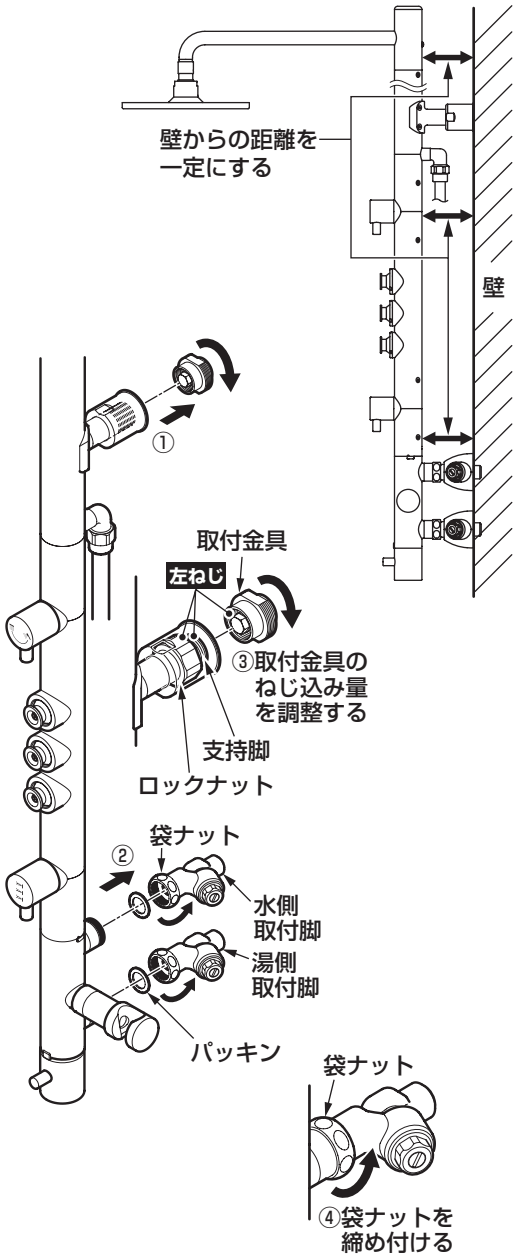
6 本体の固定

①取付金具に本体の支持脚を差し込み、取付金具を回して仮固定する。

②湯側・水側の取付脚に本体を差し込み、袋ナットを回して仮固定する。

③本体の上部・下部から壁までの距離が一定で本体が垂直になるように、取付金具のねじ込み量を調整する。

④湯側・水側の取付脚の袋ナットを交互に回して締め付ける。



注 意

●取付金具は左ねじのため、注意してください。

●袋ナットはゆるみがないようにしっかり締め付けてください。
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり、水が漏れることがあります。

●取付脚は回さないでください。
配管との接続がゆるみ、水漏れのおそれがあります。

●パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れの原因になります。

⑤取付金具のゆるみ防止のため、ロックナットを回して取付金具に押し当て、取付金具が回転しないようにロックナットを締め付ける。

⑥取付金具にカバーをねじ込み、カバーを壁に押し当てるようにして本体を固定する。

注 意

●ロックナットは左ねじのため、注意してください。

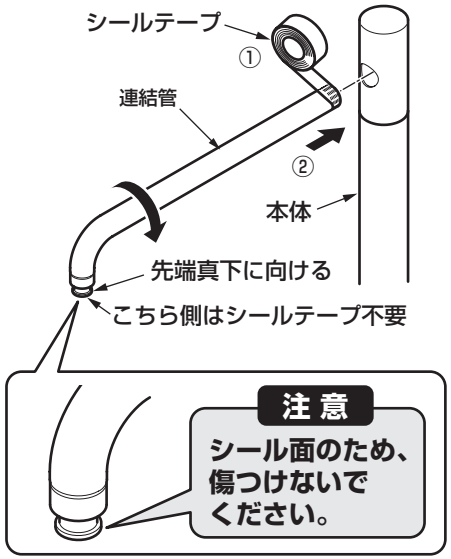
●ゆるみがないようにしっかり締め付けてください。
ロックナットおよびカバーが確実に締め付けられていないと、本体のガタツキや外れるおそれがあります。

7-1 オーバーヘッドシャワーの取り付け

エアインタイプ

①連結管にシールテープを巻く。

②連結管を本体に取り付ける。



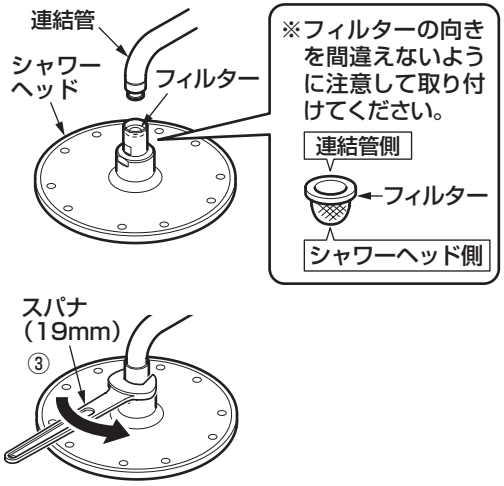
注 意

- **必ず連結管にシールテープを巻いてください。**
  シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。
- **ゆるみがないようにしっかり締めてください。**
  しっかり締め付けられていないと水が漏れたり、外れることがあります。
- **表面にはみ出したシールテープは目立たないようにカッターなどで取ってください。**

③シャワーヘッドを連結管の先に差し込み、スパナ(19mm)で十分に締め込む。

注 意

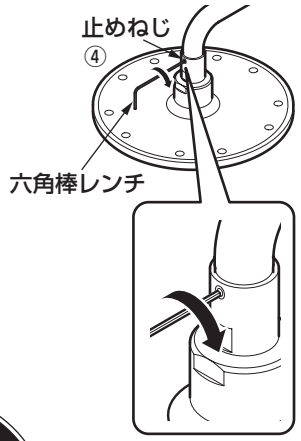
フィルターが入っていることを確認してください。



④止めねじを六角棒レンチで締め付ける。

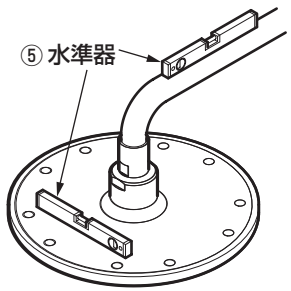
重 要

止めねじは落下防止用の部材です。確実に締め付けてください。



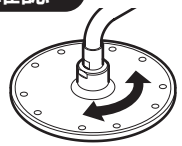
重 要

⑤取り付け後、水準器にて**連結管とシャワーヘッドが水平・垂直に**取り付いていることを確認する。



取り付け後の確認

シャワーヘッド取り付け後、シャワーヘッド部を回しても締め付け部がゆるまないことを確認してください。



7-2 オーバーヘッドシャワーの取り付け（つづき）

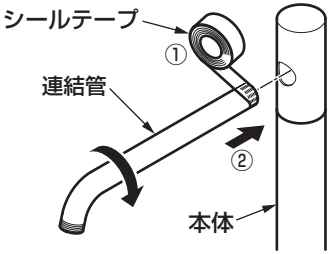
スプレータイプ

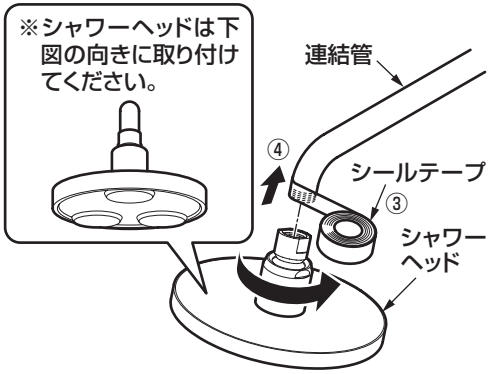
①連結管にシールテープを巻く。

②連結管を本体に取り付ける。

③連結管のもう一方にシールテープを巻く。

④シャワーヘッドを連結管に取り付ける。





注 意

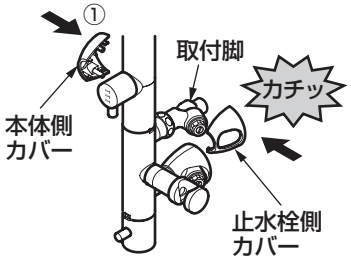
●必ず連結管にシールテープを巻いてください。
シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。

●ゆるみがないようにしっかり締めてください。
しっかり締め付けられていないと水が漏れたり、外れることがあります。

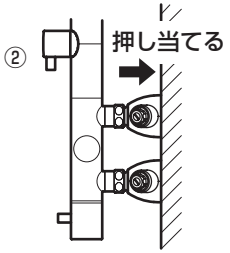
●表面にはみ出したシールテープは目立たないようにカッターなどで取ってください。

8 カバーの取り付け

①止水栓側カバーを取付脚に取り付け、本体側カバーを位置決めし、「カチッ」と音がするまで挿入する。



②カバーを壁面まで押し当てる。



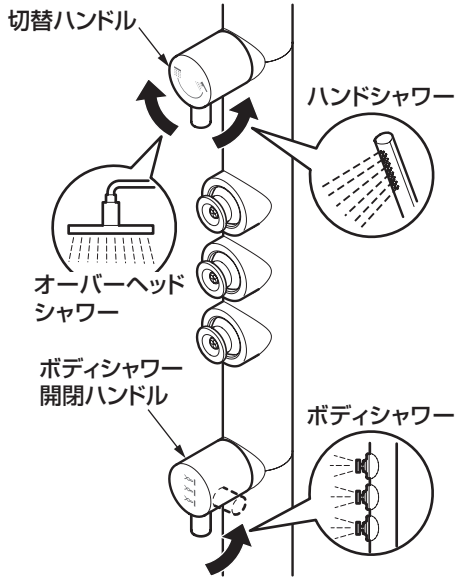
注 意

カバーを無理に取り付けると爪が折れるおそれがありますので、位置決めを確実に行ってください。

1.水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、オーバーヘッドシャワー・ボディシャワー・ハンドシャワーから水が出るか確認してください。

※ハンドルを閉めても水栓内の残水により、水が止まるまで時間がかかることがあります。



豆知識

「エアイン」は、吸気口から取り入れた空気を水に混入することにより、少ない流量でもたっぷり感のあるシャワーです。

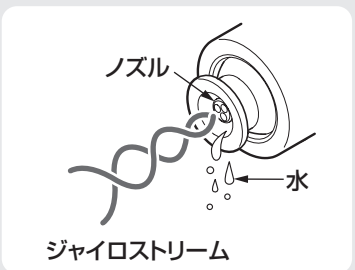
「脈動エアイン」は、吸気口から取り入れた空気を水に混入し、吐水に周期的に強弱をもたせたシャワーです。

「ジャイロストリーム」は、3つのノズルがランダムに回転し、大きな水の粒でリズミカルな刺激を与えるシャワーです。

注 意

●「エアイン」は、空気を混入するためシャワーヘッド内部で吸気音が発生します。

●「ジャイロストリーム」は、ノズルを安定して回転させるための水が水滴となって垂れることがあります。

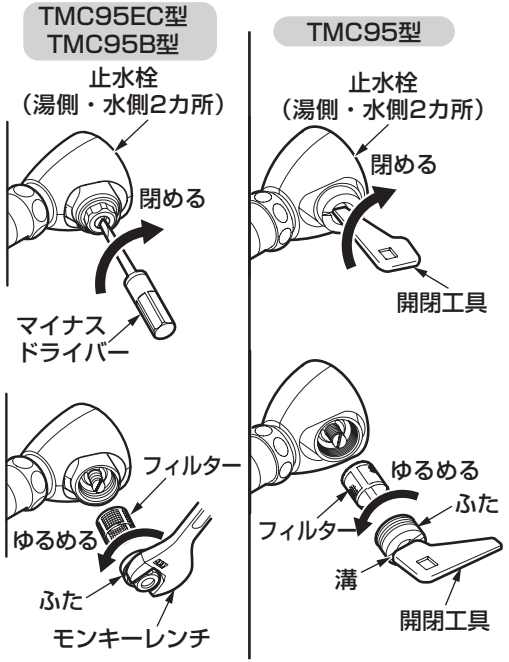


2.フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

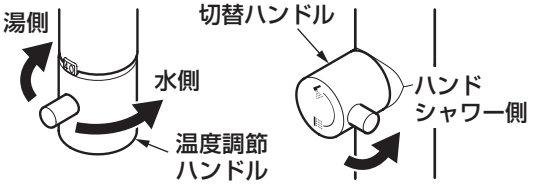
※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、フィルターを外してください。また、本体下側および湯側給水脚が熱くないことを確認してください。（詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください。）



3.流量の調節

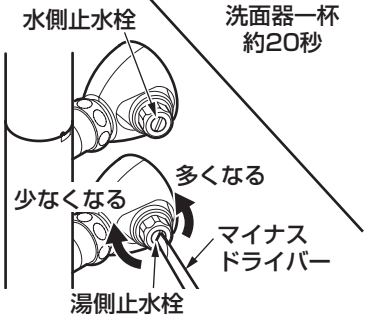
切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で **止水栓** を調節してください。

1. 温度調節ハンドルを右(水側）いっぱいに回し、切替ハンドルを右上（ハンドシャワー側）に回す。



2. 流量が12L/分程度(洗面器一杯にするのに約20秒弱)になるように水側止水栓で調節する。
   ※時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

3. 温度調節ハンドルを左（湯側）いっぱいに回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



⚠ 注　意

必ず実行 **湯側の調節を行うときは十分注意する**
熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

4.吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。
吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

1.給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。快適なシャワー流量・温度を得るためには、60℃に設定することをおすすめします。

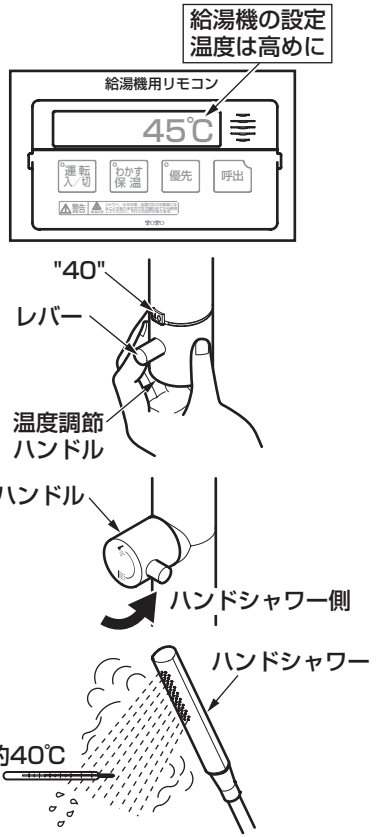
2.温度調節ハンドルのレバーを目盛り"40"にあわせる。

3.切替ハンドルを右上いっぱいに回す。

ハンドシャワーから水が出ます。

4.吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



豆知識

当商品は安全のため、熱湯が出ない構造となっています。
(温度調節ハンドルの設定を正しく行った場合、吐水可能な最高温度は約45℃です)

注　意

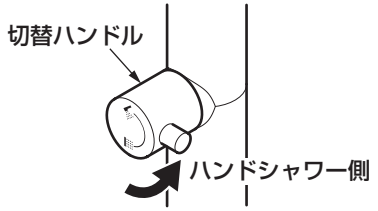
エアインシャワーの場合、シャワーを止めたあと、一般シャワーヘッドとは異なり、シャワーヘッド根元にある吸気口より水が排出されます。
故障ではありません。

5.温度調節ハンドルの設定

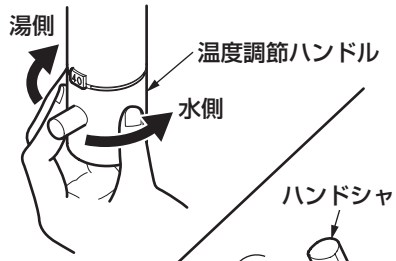
※吐水温度が表示通りになっていないときに行ってください。
TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

1.切替ハンドルを右上いっぱいに回す。

ハンドシャワーから水が出ます。



2.温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。



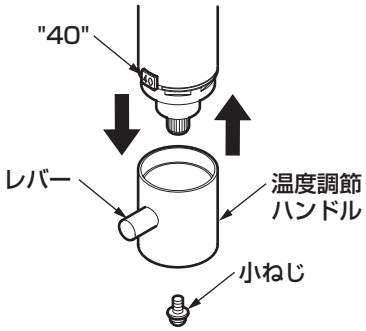
3.温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意して、小ねじ・温度調節ハンドルを外してください。

4.温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とレバーをあわせて温度調節ハンドルを取り付け、小ねじで固定してください。

5.固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。



8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

取付方向の確認

オーバーヘッドシャワーの取付方向は正しいか確認してください。

❼ オーバーヘッドシャワーの取付方向は正しいですか？

↳ 6-5 6-6 － 7 「オーバーヘッドシャワーの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

A•Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

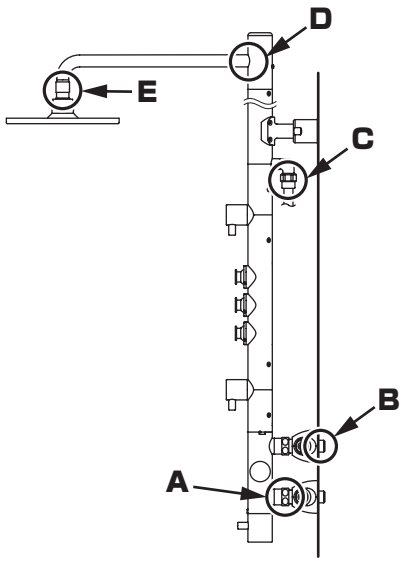
配管に腐食･ひび割れなどがないことを確認の上、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

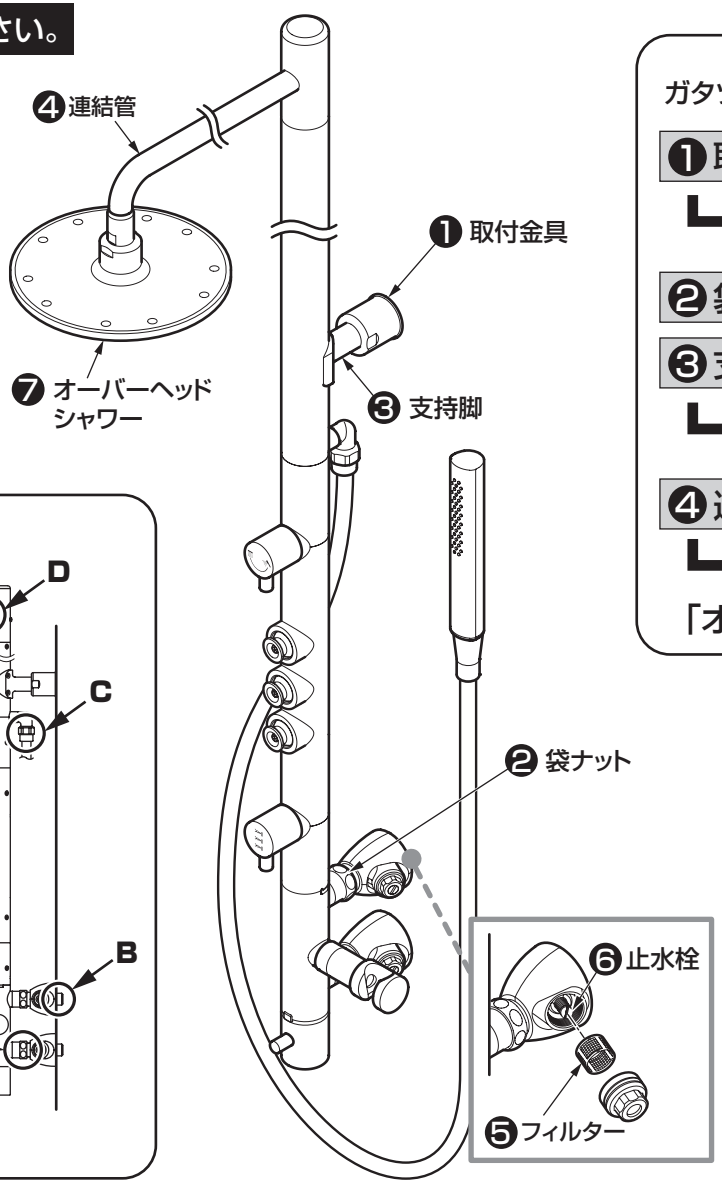
Dから水漏れがある場合

シールテープが巻かれているか確認後、締め直してください。

Eから水漏れがある場合

↳ 6-5 6-6 － 7 「オーバーヘッドシャワーの取り付け」参照





ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❶ 取付金具のガタツキはないですか?

↳ 6-2 － 3 「取付金具の取り付け」参照

❷ 袋ナットのゆるみはないですか?

❸ 支持脚のガタツキはないですか?

↳ 6-4 － 6 「本体の固定」参照

❹ 連結管接続部のガタツキはないですか?

↳ 6-5 6-6 － 7 「オーバーヘッドシャワーの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❺ フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 7-2 2.フィルターの掃除 参照

❻ 止水栓は開いていますか?

↳ 7-2 3.流量の調節 参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。